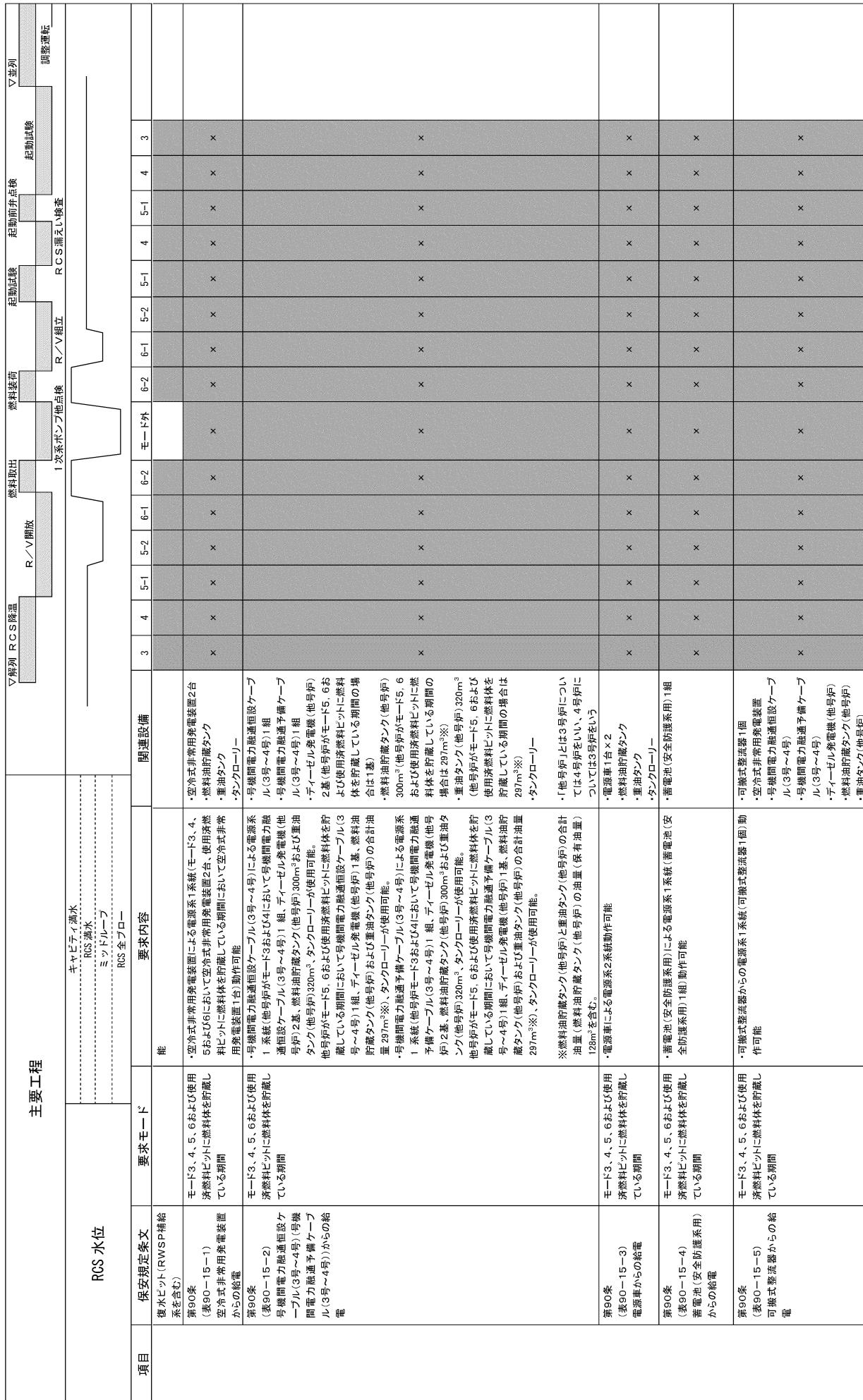


施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程			要求内容												関連設備			燃料取出			燃料保管			起動試験			起動前弁点検			△並列											
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容												関連設備												燃料取出			燃料保管			起動試験			起動前弁点検			△並列		
	RCS 水位	RCS 全 ブロー	キャビティ漏水 RCS 溢水 ミッドループ	・使用燃料ヒット温度(AW用)2個 ・使用燃料ヒット監視カメラ(使用燃料ヒット監視カメラ冷却装置は1個) ・可燃式使用燃料ヒット水位2個(使用燃料ヒット水位2個) ・可燃式使用燃料ヒットによる燃料補給設備 20214 リトル以上(3号炉および4号炉の合計) ・精油ドラム缶	・タンクローリー																																				
第90条 (表90-12-4)	モード3、4、5、6および(使用燃料ヒットによる燃料を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および(使用燃料ヒットによる燃料を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および(使用燃料ヒットによる燃料を貯蔵している期間	・大容量ポンプおよび貯水池による放水系 1系統(大容量ポンプ3台(1台を1台で1組として2組)、放水栓3台(1台を1台で1組として2組))動作可能 ・大容量ポンプおよび貯水池による放水系 1系統(大容量ポンプ3台(1台を1台で1組として2組)、放水栓3台(1台を1台で1組として2組))動作可能	・大容量ポンプ(放水栓用)3台 (2台接続で3号炉と4号炉両方同時に放水できる容量、3号炉及び4号炉合計所要数) ・放水栓3台(3号炉及び4号炉合計所要数) ・混合器1台(3号炉及び4号炉合計所要数) ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×										
第90条 (表90-13-1)	モード3、4、5、6および(航空機への拡散抑制、航空機燃料火災への泡消火装置による期間	モード3、4、5、6および(航空機への拡散抑制、航空機燃料火災への泡消火装置による期間)	モード3、4、5、6および(航空機への拡散抑制、航空機燃料火災への泡消火装置による期間)	・シルトランク(3号炉及び4号炉合計所要数) 取水路網: 高さ約 7m/幅約 35m (幅約 20m/本を1本、幅 15m/本を1本で1組として2組) 高さ約 7m/幅約 10m (幅約 10m/本を1本で1組として2組) 放水路網 高さ約 12m/幅約 5.4m 1組として2組 (幅約 5.4m/本を2本で1組として2組) 高さ約 12m/幅約 5.8m (幅約 5.8m/本を2本で1組として2組)	・シルトランク ・シルトランク(3号炉及び4号炉合計所要数) 取水路網: 高さ約 7m/幅約 35m (幅約 20m/本を1本、幅 15m/本を1本で1組として2組) 高さ約 7m/幅約 10m (幅約 10m/本を1本で1組として2組) 放水路網 高さ約 12m/幅約 5.4m 1組として2組 (幅約 5.4m/本を2本で1組として2組) 高さ約 12m/幅約 5.8m (幅約 5.8m/本を2本で1組として2組)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×											
第90条 (表90-13-2)	モード3、4、5、6および(海洋への拡散抑制)	モード3、4、5、6および(海洋への拡散抑制)	モード3、4、5、6および(海洋への拡散抑制)	・シルトランク(3号炉及び4号炉合計所要数) 取水路網: 高さ約 7m/幅約 35m (幅約 20m/本を1本、幅 15m/本を1本で1組として2組) 高さ約 7m/幅約 10m (幅約 10m/本を1本で1組として2組) 放水路網 高さ約 12m/幅約 5.4m 1組として2組 (幅約 5.4m/本を2本で1組として2組) 高さ約 12m/幅約 5.8m (幅約 5.8m/本を2本で1組として2組)	・シルトランク ・シルトランク(3号炉及び4号炉合計所要数) 取水路網: 高さ約 7m/幅約 35m (幅約 20m/本を1本、幅 15m/本を1本で1組として2組) 高さ約 7m/幅約 10m (幅約 10m/本を1本で1組として2組) 放水路網 高さ約 12m/幅約 5.4m 1組として2組 (幅約 5.4m/本を2本で1組として2組) 高さ約 12m/幅約 5.8m (幅約 5.8m/本を2本で1組として2組)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×											
第90条 (表90-14-1)	モード3、4、5および6(海水を用いた海水ヒットへの補給)	モード3、4、5および6(海水を用いた海水ヒットへの補給)	モード3、4、5および6(海水を用いた海水ヒットへの補給)	・海水を用いた海水ヒットへの補給系2系統動作可能 ・送水車1台×2 ・精油ドラム缶	・海水を用いた海水ヒットへの補給系2系統動作可能 ・送水車1台×2 ・精油ドラム缶	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×											
第90条 (表90-14-2)	モード3、4、5および6(キャビティ底水位)	モード3、4、5および6(キャビティ底水位)	モード3、4、5および6(キャビティ底水位)	・ほう素濃度 2,800ppm 以上であること ・ほう素水流量(有効水量): 1,860m ³ 以上であること(原子炉キャビティ水張り水抜き期間においては第90条に定める水源および貯水池における水抜き期間における水抜き水流量が確保されていることを条件に運転上の制限を満足しないこととはみなされない、なお原原子炉キャビティ水張り期間とは、原子炉キャビティ水張り作業開始から燃料取替用海水ヒット水位を回復するまでの期間をいう)	・燃料取替用海水ヒット	×	×	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△										
第90条 (表90-14-3)	モード3、4、5および6	モード3、4、5および6	モード3、4、5および6	・復水ヒット	・復水ヒット	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×											

計画の安全管理検査期定期の実施



施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		要求内容										要件モード									
RCS 水位		保安規定条文					要求モード					開通設備					要求モード				
第90条 (表90-15-6) 代務所 内電気設備から の給電		モード3、4、5、6および使用 済燃料ビットに燃料体を貯蔵し している期間					・代務所内電気設備からの給電系が使用可能					・電源車 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー					・燃料取扱 ・R／V開放 ・R／V組立 ・RCS漏えい検査				
第90条 (表90-15-7) 燃料油貯蔵タンクまたは 重油タンク、タンクローリー による燃料補給設備		モード3、4、5、6および使用 済燃料ビットに燃料体を貯蔵し ている期間					・燃料油貯蔵タンクの油量(300m ³ 以上(2基分)) ・重油タンクの油量(320m ³ 以上(2基分)) ・タンクローリー:2台(重大事故等対処設備の連続定格運転 に必要な燃料を補給できる容量を有するもの。3号炉および4号炉合計)					・代務所内電気設備分電盤1 ・代務所内電気設備変圧器1 ・空冷式非常用発電装置 ・可搬式整流器 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー					・燃料取扱 ・R／V開放 ・R／V組立 ・RCS漏えい検査				
第90条 (表90-16-1) 計表設備		モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器内の温度)					・ブラント起動時に使う計器校正、真空ベンチングおよび原子 炉内絶縁容器用い平成査持に計器保護のため隔離して いる場合等は、動作不能はみなさない。 ・※代務ハラメータに記載する番号は優先順位であり、代務 ハラメータが複数あることを示す。 ・「」は多様性抗張設備を示し、運転上の制限は適用しない。					代務ハラメータ 代務ハラメータ					・左記監視設備				
モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器内の温度)		・次冷却部高溫度(底面)ICH ・次冷却部低溫度(底面)ICH ・手出口温度					(1)主要ハラメータ地ループICH (2)次冷却部低溫度(底面)ICH (1)主要ハラメータ地ループICH (2)次冷却部高溫度(底面)ICH (1)次冷却部低溫度(底面)ICH (2)次冷却部低溫度(底面)ICH					・左記監視設備					・左記監視設備				
モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器内の圧力)		・次冷却圧力ICH ・加圧装置(GRU)					(1)主要ハラメータ地チャンネルICH (2)次冷却部高溫度(底面)ICH (3)次冷却部低溫度(底面)ICH (1)次冷却部圧力ICH					・左記監視設備					・左記監視設備				
モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器内の水位)		・加圧装置水ICH ・原子炉水ICH ・次冷却部給水炮					(1)主要ハラメータ地チャンネルICH (2)原子炉水ICH (1)加圧装置水ICH (1)次冷却部高溫度(底面)ICH (1)次冷却部低溫度(底面)ICH (1)次冷却部低溫度(底面)ICH					・左記監視設備					・左記監視設備				
モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器の大流量)		・原子炉大容器の注入量					(1)主要ハラメータ地チャンネルICH (2)原子炉水ICH (1)加圧装置水ICH (1)次冷却部高溫度(底面)ICH (1)次冷却部低溫度(底面)ICH					・左記監視設備					・左記監視設備				

施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		要求モード		要求数量)		要求内容		関連設備								燃料取出		燃料保管		起動試験		起動前弁点検		△並列	
項目	保安規定条文	RCS 水位	RCS 全 ブロー	ミッドループ	RCV 満水	キャビティ満水	RCS 降温	R/V 開放	1次系ポンプ点検	R/V 組立	RCS 溢えい検査	調整運転													
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器への注水 量)	余熱除去流量 1CH ・自然循環圧注水供給流量 1CH ・射出水流束 〔射出水流束〕 〔射出水流束〕 〔AM用海水供給流量〕	②燃費器用ヒートセクション水位 1CH ③加圧水位 1CH ④原水水位 1CH ⑤格安器再循環ポンプ水位 1CH ①主要パラメータの地セクション水位 1CH ②燃費器用ヒートセクション水位 1CH ③加圧水位 1CH ④原水水位 1CH ⑤格安器再循環ポンプ水位 1CH ①主要パラメータの地セクション水位 1CH ②加圧水位 1CH ③原水水位 1CH ④格安器再循環ポンプ水位 1CH ①主要パラメータの地セクション水位 1CH ②加圧水位 1CH ③原水水位 1CH ④格安器再循環ポンプ水位 1CH ①主要パラメータの地セクション水位 1CH ②加圧水位 1CH ③原水水位 1CH 〔AM用海水供給流量〕	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3								
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の温度)	・原子炉格納容器内の温度 ・冷却塔水温 1CH ・射出水流束 〔射出水流束〕 〔AM用海水供給流量〕	①燃費器用ヒートセクション水位 1CH ②格安器再循環ポンプ水位 1CH ①主要パラメータの地セクション水位 1CH ②格安器再循環ポンプ水位 1CH ③格安器再循環ポンプ水位 1CH ①主要パラメータの地セクション水位 1CH ②格安器再循環ポンプ水位 1CH ③格安器再循環ポンプ水位 1CH ①主要パラメータの地セクション水位 1CH ②格安器再循環ポンプ水位 1CH ③AM用海水供給流量	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3								
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の圧力)	・原子炉格納容器内の圧力 ・冷却塔水温 1CH ・射出水流束 〔射出水流束〕 〔AM用海水供給流量〕	①主要パラメータの地セクション水位 1CH ②格安器再循環ポンプ水位 1CH ③AM用海水供給流量	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3								

施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		要求モード		要求数量		関連設備		起動試験		起動前弁点検		△並列	
項目	保安規定条文	RCS 水位	RCS 全 ブロー	キャビティ漏水	RCS 満水	RCS 水位	RCS 全 ブロー	R／V開放	RCS 開出	RCS 降溫	RCS 降溫	RCS 組立	RCS 調整運転
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の水位)	・RCS水位監視装置計1台CH ・燃料容器監視サンプル水位計測1台CH	・左記監視設備											
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の水素濃度)	・原子炉格納容器内の水素濃度計1台CH ・可燃性气体容積内水素濃度計1台CH	・左記監視設備											
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の放射線量率)	・放射線監視装置計1台CH ・可燃性气体容積内放射線量率計1台CH	・左記監視設備											
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の水素温度)	・原子炉格納容器内の水素温度計1台CH ・可燃性气体容積内水素温度計1台CH	・左記監視設備											
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の放射線量率)	・放射線監視装置計1台CH ・可燃性气体容積内放射線量率計1台CH	・左記監視設備											
モード3、4、5および6 (未臨界の維持または監視)	・中間制御中子率計1台CH ・中子源強度計1台CH	・左記監視設備											
モード3、4、5および6 (最終ヒンクの確保)	・最終ヒンクの確保 ・燃料容器水力応力計1台CH	・左記監視設備											
		△解列 RCS降温	R／V開放	1次系ポンプ地点検	R／V組立	RCS漏えい検査							

計画の安全管理検査期定期の実施

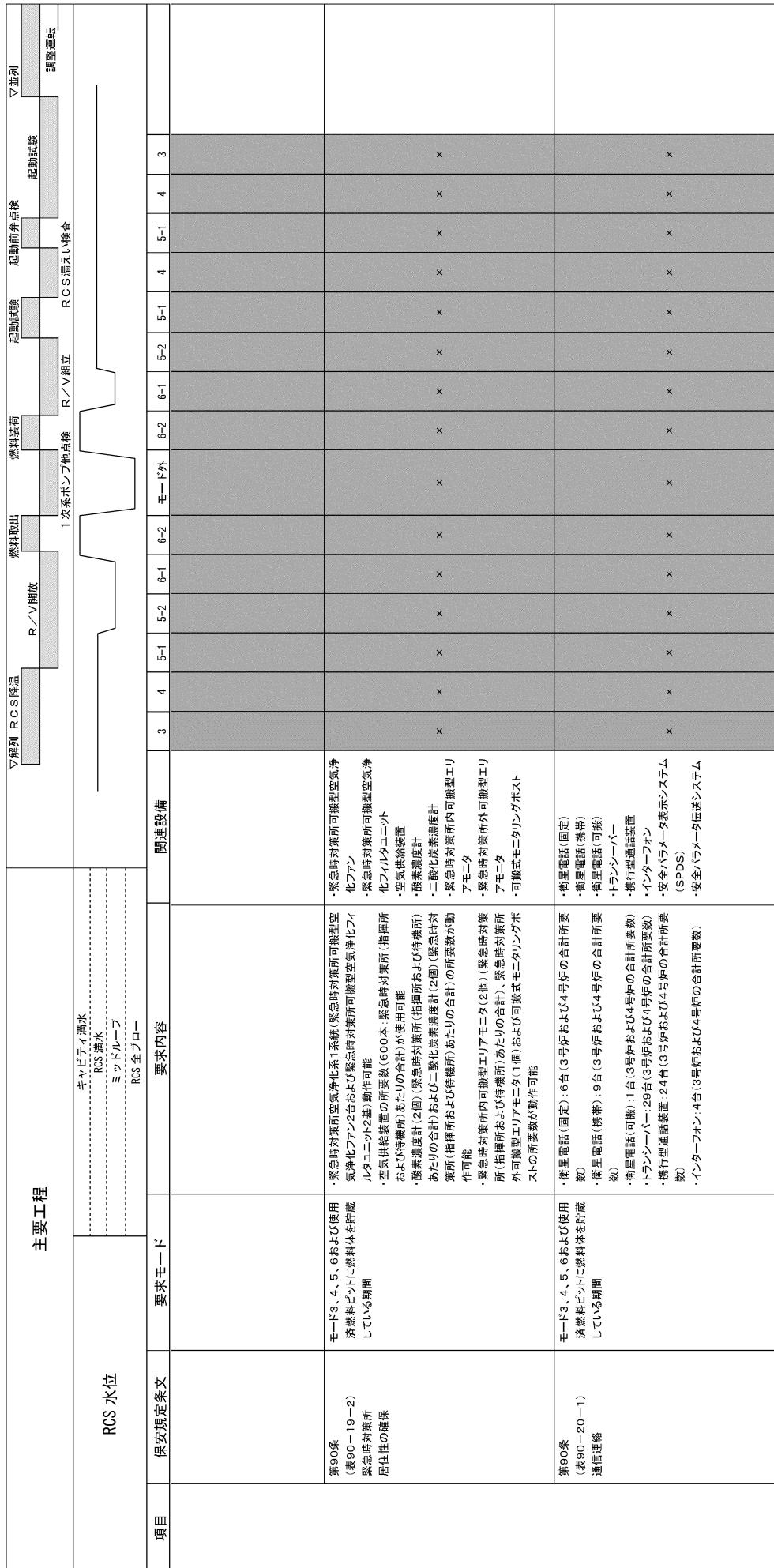
施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程			要求モード												要求モード																							
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容			関連設備			3			4			5-1			5-2			6-1			6-2			モード外			6-1			6-2			モード外		
RCS 水位	キャラティ漏水 RCS 満水 ミッドループ RCS 全 ブロー	・高機能型主電気保安モード ・排氣筒ガスマニホール ・原子炉開閉装置ランタン水位 ・余熱除去ポンプ出力 ・加圧器過給タップ圧力(底) ・加圧器過給タップ水位 ・加圧器過給タップ流量 モード3、4、5および6 (水源の確保)	①蒸発生成器水位(排氣筒)ICH (主電圧正力)OH ①冷却却圧力 OH ①加圧器水位 OH ①燃費容器新設サンプル水位(底)ICH (蒸発生成器水位)ICH (主電圧正力)OH ①冷却却圧力 OH ①加圧器水位 OH ①燃費容器新設サンプル水位(底)ICH (蒸発生成器水位)ICH (主電圧正力)OH ①冷却却圧力 OH ①加圧器水位 OH ①燃費容器新設サンプル水位(底)ICH (蒸発生成器水位)ICH (主電圧正力)OH ①冷却却圧力 OH ①加圧器水位 OH ①冷却却圧力 OH ①加圧器水位 OH ①冷却却圧力 OH ②燃費容器新設サンプル水位 OH ・槽水位水位 OH ・槽水位水位 OH ・中子束計測中子束 OH	・左記監視設備 ①主要パラメータの地センサ&リモートICH ②燃費容器新設サンプル水位(底)ICH ①主要パラメータの地センサ&リモートICH ②蒸発生成器新設サンプル水位 OH ③燃費容器新設サンプル水位 OH ①主要パラメータの地センサ&リモートICH ②出力制御中子束 OH ②中子束計測中子束 OH	・可搬型計測器 ・可搬型計測用: 12個 ・温度計測用: 28箇 ・可搬型温度計測装置(燃料容器再循環ユニット)入口温度 ・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度 ・出口温度(SA)用: 3個 ・安全パラメータ表示システム(SPDS): 1系列(3号炉および4号炉の合計) ・SPDS表示装置: 2台(3号炉および4号炉の合計) ・SPDS表示装置	△解列 RCS 降温 R/V 開放 1次系ポンプ地点検 R/V 組立 RCS漏えい検査 調整運転																																
第90条 (表90-16-2) 可搬型計測器	モード3、4、5および6	・温度計測用: 12個 ・圧力、水位および流量計測用: 28箇	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
第90条 (表90-16-3) 記録	モード3、4、5および6	・可搬型温度計測装置(燃料容器再循環ユニット)入口温度 ・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度 ・安全パラメータ表示システム(SPDS): 1系列(3号炉および4号炉の合計) ・SPDS表示装置: 2台(3号炉および4号炉の合計)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×						

施設定期検査時の安全管理の計画

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備										燃料装置	起動試験	起動前弁点検	△並列	
				3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2					
第90条 (表90-17-1) 中央制御室	モード3、4、5、6および使用済燃料ビックに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビックに燃料体を貯蔵している期間	・中央制御室非常用循環系・系統以上動作(ファーム手動起動・系統構成含む)できること、または運転中・可搬型照明(SA)・酸素濃度計および二酸化炭素濃度計の所要数が使用可能	・中央制御室非常用循環ファン1台 ・中央制御室空調ファン1台 ・中央制御室非常用循環ファン1台 ・中央ユニット1基 ・可搬型照明(SA) 8個(3号炉および4号炉の合計所要数) ・酸素濃度計1個(3号炉および4号炉の合計所要数) ・二酸化炭素濃度計1個(3号炉および4号炉の合計所要数) ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
第90条 (表90-18-1) 監視測定装置	モード3、4、5、6および使用済燃料ビックに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビックに燃料体を貯蔵している期間	〔放射性物質の濃度および放射線量の測定〕 ・可搬式モニタリングホスト-17個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備6個を含む) ・電離積サーモメータ-3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) (可搬式放射線計測装置) ・可搬式ダストサンプラー-3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) ・汚染サーベイメータ-3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) ・Nalシンチレーションサーバーベータ-3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) ・ZnSシンチレーションサーバーベータ-2個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) ・小型船舶-2台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・風向、風速その他の気象条件の測定 ・可搬式気象観測装置	〔放射性物質の濃度および放射線量の測定〕 ・可搬式モニタリングホスト-17個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備6個を含む) ・電離積サーモメータ-3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) (可搬式放射線計測装置) ・可搬式ダストサンプラー-3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) ・汚染サーベイメータ-3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) ・Nalシンチレーションサーバーベータ-3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) ・ZnSシンチレーションサーバーベータ-2個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) ・風向、風速その他の気象条件の測定 ・可搬式気象観測装置	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-19-1) 緊急時対策所 代替電源設備からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ビックに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビックに燃料体を貯蔵している期間	・電源車(緊急時対策所用)2台動作可能	・電源車(緊急時対策所用)1台×2緊急時対策所あたりの合計数 ・空冷式非常用発電装置(3号炉および4号炉の合計所要数) ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

施設定期検査時の安全管理の計画



施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程			項目	保安規定条文	要求モード	要求数	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
RCS 水位	キャラティ漏水 RCS 溢水 ミッドループ RCS 全 ブロー	△解列 RCS 降溫 R／V 開放 1次系ポンプ点検 R／V 組立 RCS 漏えい検査	・安全ハラメータ表示システム(「SPDS」、1系列(3号炉および4号炉)の合計所要数、A系またはB系の所内および所外へ伝送可能であること)※1 ・安全ハラメータ伝送システム：1系列(3号炉および4号炉の合計所要数、A系またはB系のいずれかにより有線系、無線系または衛星系回線で所内および所外へ伝送可能であること)※2 ・SPDS表示装置：2台(3号炉および4号炉の合計所要数) ※1 (※1)サーべー切替等による一時的データ伝送停止は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。また、所要の確認対象ハラメータを記録し、運送する要員を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴うデータ伝送停止を含む。)は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。 ・緊急停電通信システム：1台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備(「V会議システム、IP電話、IP-FAX」、1系列(3号炉および4号炉の合計所要数、TV会議システム、IP電話、IP-FAXのいずれかにより)通信可能であること)「衛星搬送電話設備等の通信機器による通信手段を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴う停止を含む。)は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク、重油タンク、タンクローリー ・電源車緊急時搬出用 ・フルード(2台)(3号炉および4号炉の合計所要数、予備機1台を含む)の所要数が動作可能	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-21-1) アクセスルートの確保	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間																					

×	:機能要求あり
△	:機能要求あり(条件付)
□	:機能要求なし

モード		原子炉容積スタットボルトの状態	
3	1次冷却材温度 177°C以上	全ボルト締付	全ボルト締付
4	1次冷却材温度 93°C超 177°C未満	全ボルト締付	全ボルト締付
5-1	1次冷却材温度 93°C以下(RCS 溢水)	全ボルト締付	全ボルト締付
5-2	1次冷却材温度 93°C以下(RCS 非溢水)	1本以上が緩められている	1本以上が緩められている
6-1	1次冷却材温度 93°C以下(セイド ローラー)	1本以上が緩められている	1本以上が緩められている
6-2	1次冷却材温度 93°C以下(セイド 高水位)	1本以上が緩められている	1本以上が緩められている
モード外	全ての燃料が原子炉格納容器の外にある状態	—	—

※ 本計画は、安全確保の方法の基本方針を示すものであり、詳細については、保安規定を参照すること。また、作業工事等の変更が生じた際ににおいても、保安規定の遵守を徹底し、安全確保に努めるものとする。